

猛暑、酷暑の続く今夏ですが、お変わりなくお過ごしのことと思います。無理をせず、しかし、しっかりと毎日を楽しみながら生きたいものです。

「いつでも元気」読者の皆さんと「秋田花の山巡り」

2018年7月25日～27日、「いつでも元気」読者15人で、秋田県の3つの花の山（八幡平、森吉山、秋田駒ヶ岳）を巡りました。

企画・立案したのは私ですが、準備不足がたまって幾つか齟齬（そご）を生じましたが、山と花、温泉と地元料理などを堪能した2泊3日の旅でした。

八幡平山頂一帯のお花畑をめぐる

一日目、秋田空港に降り立ったのが9時35分、本日の登山対象は八幡平（はちまんたい）。

レンタカーのナビによると高速道路を使用すると1時間早く着くという。

この日はスケジュールに余裕がないので、即座に「高速で行こう」と **↑八幡平山頂付近の湿原** 決めたが、その高速道路（東北自動車道）がとんでもない大回り、事前調査を怠った自らに舌打ちしつつ、長時間の走行に身をゆだねるしかない。岩手県の紫波SAで昼食を摂り、14時過ぎにやっと八幡平駐車場に到着。やれやれ！



湿原と池塘、池など変化のある風景と沢山の花々

八幡平山頂周辺は2時間余りの周遊回路が設けられており、色とりどりの花をめで、ここならではの



の景観を楽しむことが出来る。

コバイケイソウの群落に続いて、湿原の周辺を縁取るニッコウキスゲの黄色が緑の中で殊更鮮やか。

足元にはイワイチョウ、ヨツバシオガマ、コウメバチソウ、クルマユリ、サンカヨウなどが様々な姿で咲き乱れている。イワカガミもまだ花を残していた。

鏡池近くの展望台からは八幡平の広大な森林原野が見渡せ、眼下にオオシラビソ（マツ科モミ属）の紫藍色の大きな実が見えた。猛暑続きの下界を離れて、こ

↑コバイケイソウ

こは天国、極楽とにぎやかな話声を響かせながら歩き回った2時間だった。



ツキノワグマと遭遇

八幡平で花を楽しんだのち、その日の宿泊地・阿仁（あに） 打当（うっとう）温泉へと車を走らせた。道は国道 341 号線、玉川温泉への分岐を過ぎて間もなく、道路わきに黒い動物が座っているのが見えた。大きな犬かと思ったが、すぐにクマだと分かった。

車は静かに停止した。クマがこちらを

↑オオシラビソの実 向いた。だが驚いた様子はない、車中の人々が驚き、慌ててスマホやカメラを構えるのを尻目に、悠々と前方を横切り、右側の森に消えていった。

確かに「熊出没 注意！」と大書した看板が各所で出ていた。しかし、実際に出あうとは。

私も、今までに、全国各地の山々を歩き回ってきたが、野生のツキノワグマと出会ったのは初めて。ヒグマとは大雪山単独縦走の折、出会っているが。



可愛い鉄道駅舎と列車

阿仁地方へ向かう国道 105 号線は秋田内陸縦貫鉄道ともつれ合うように並行して走っている。この単線鉄道の駅舎がいずれも小さく可愛らしく、しかも森と田畑の中にポツンと建っているが多い。

そして、その駅に走りこむ小さな列車。車体には「又鬼」の文字が躍っている。乗る人も降りる人も居るのか、居ないのか。まるでアニメのワンシーンを見ているような思いにとらわれる。

経営的には大変だろうが、何とか残してほしい情景だった。



↑ハクサンチドリ

タチギボウシ→

※月刊誌「いつでも元気」

保険医療研究所発行（一冊 380円）

格差と貧困が広がる今、「無差別・平等の医療と福祉の実現」めざす取り組みが紹介されています。ぜひご購入ください。



↓トウゲブキ

